

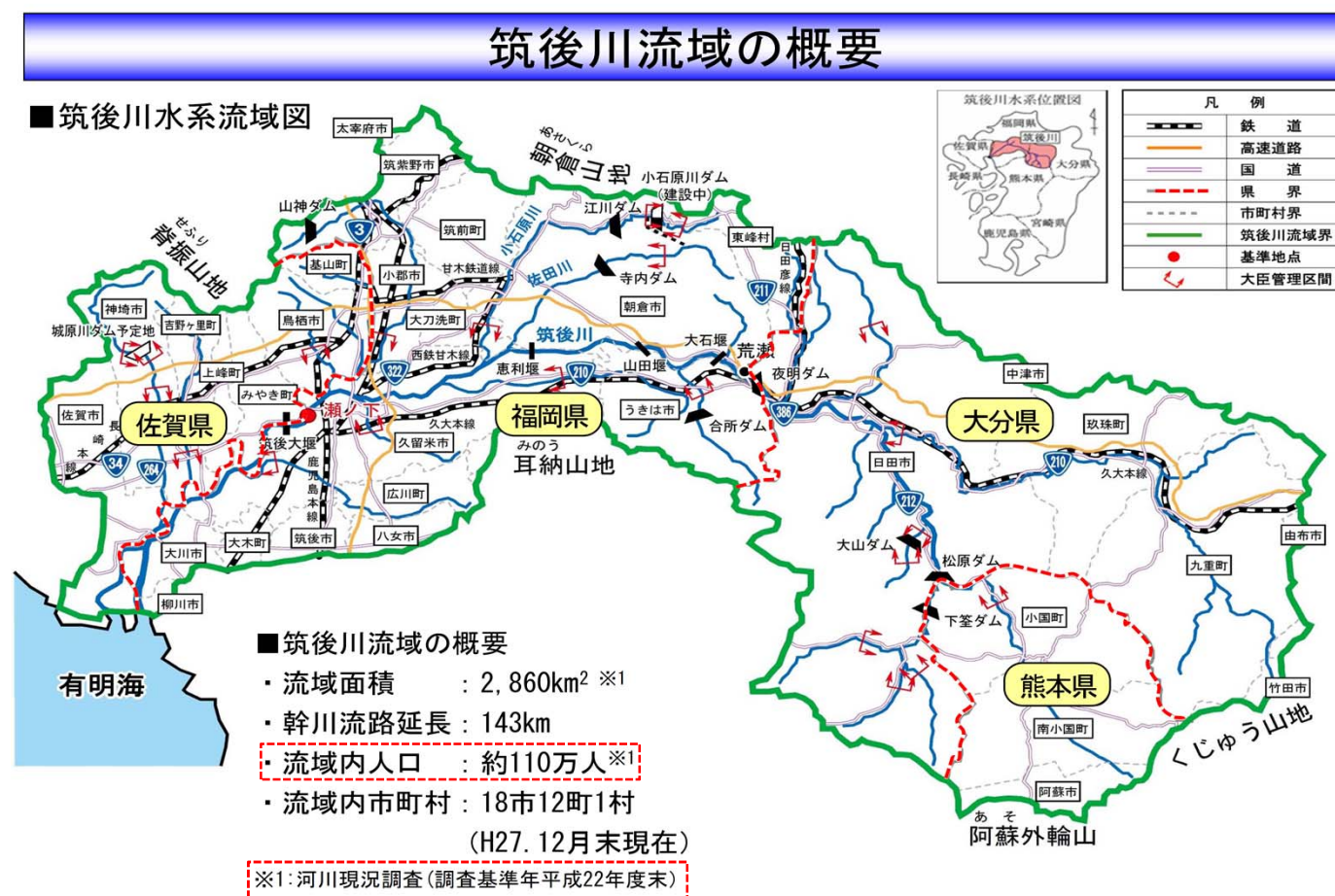
筑後川水系ダム群連携事業の関係地方公共団体からなる検討の場(第3回)資料の訂正について

平成28年3月16日に開催しました検討の場(第3回)資料(資料-3)において、一部誤りがありましたので訂正いたします。訂正箇所は以下のとおりです。

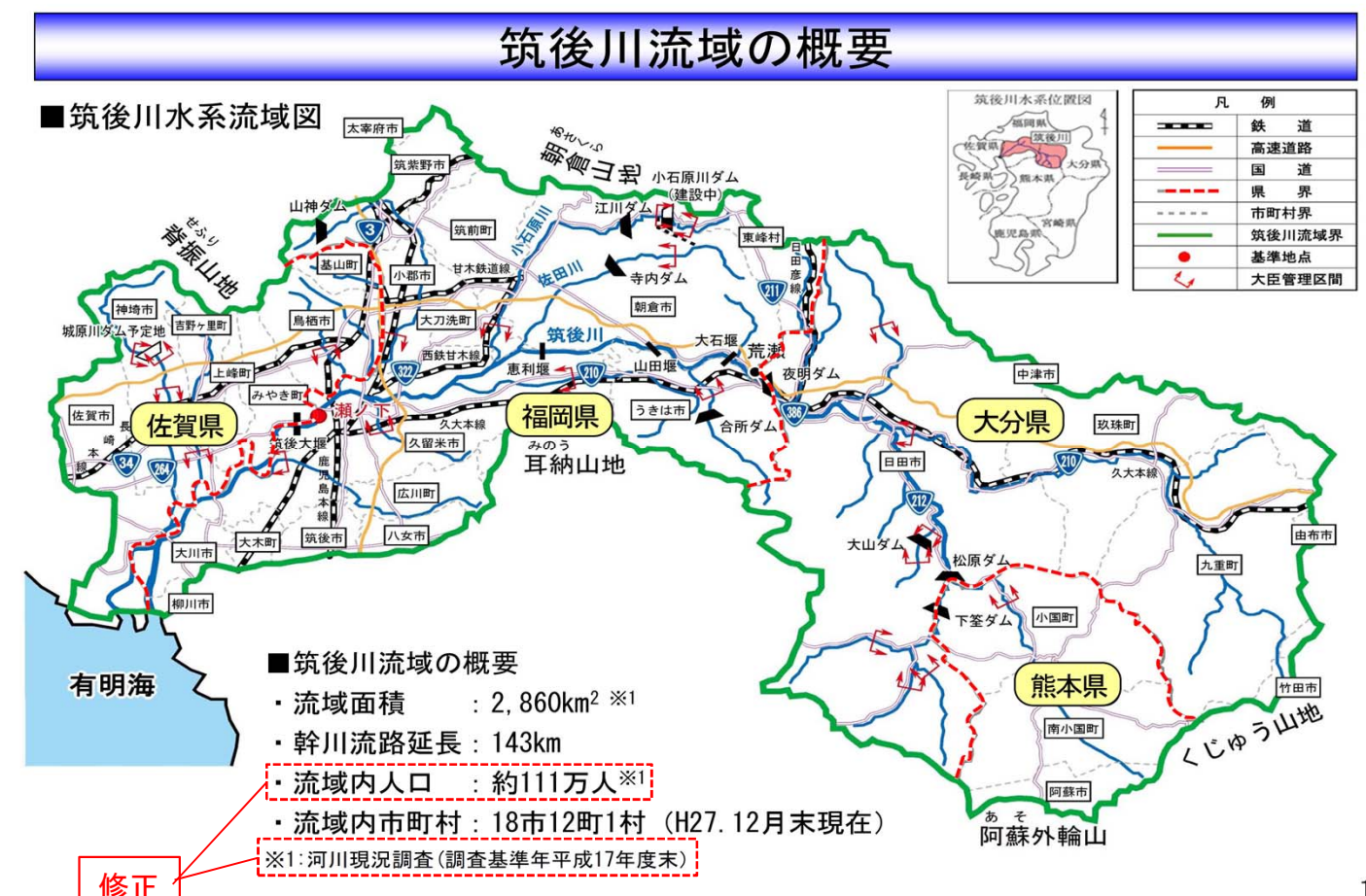
【正誤表】

■検討の場 第3回:資料-3(P1) 筑後川水系の「流水の正常な機能の維持」について

訂正前



訂正後





筑後川水系ダム群連携事業の関係地方公共団体からなる検討の場(第3回)資料の訂正について

平成28年3月16日に開催しました検討の場(第3回)資料(資料-3)において、一部誤りがありましたので訂正いたします。訂正箇所は以下のとおりです。

【正誤表】

■検討の場 第3回:資料-3(P6) 筑後川水系の「流水の正常な機能の維持」について

訂正前

訂正後

③新規利水：福岡都市圏を含む北部九州の社会経済の発展に伴って必要となった水道用水

③新規利水：福岡都市圏を含む北部九州の社会経済の発展に伴って必要となった水道用水

●北部九州の社会経済の発展に伴う人口増大及び水道整備の進展による水需要の均衡を図るため、昭和41年に水資源開発促進法に基づく筑後川水系水資源開発基本計画(通称:フルプラン)を策定し、以降、筑後川の水は、江川ダム(S50)、寺内ダム(S53)、筑後大堰(S60)等の整備により、福岡都市圏、福岡県南、佐賀東部地域に導水され、広域的に利用されることとなった。  
●筑後川からの給水区域の総人口は、昭和30年当時から約1.7倍の約370万人に増加しており、福岡県の人口の約7割、佐賀県の人口の約5割の生活を支えている。  
●福岡都市圏は、域内の中小河川による水資源開発を行っているが、必要量を確保するため流域外の筑後川からの導水に約3割を依存している。

●北部九州の社会経済の発展に伴う人口増大及び水道整備の進展による水需要の均衡を図るため、昭和41年に水資源開発促進法に基づく筑後川水系水資源開発基本計画(通称:フルプラン)を策定し、以降、筑後川の水は、江川ダム(S50)、寺内ダム(S53)、筑後大堰(S60)等の整備により、福岡都市圏、福岡県南、佐賀東部地域に導水され、広域的に利用されることとなった。  
●筑後川からの給水区域の総人口は、昭和30年当時から約1.7倍の約370万人に増加しており、福岡県の人口の約7割、佐賀県の人口の約5割の生活を支えている。  
●福岡都市圏は、域内の中小河川による水資源開発を行っているが、必要量を確保するため流域外の筑後川からの導水に約3割を依存している。

■全国総合開発計画からフルプラン作成までの経緯

■筑後川の水資源開発事業の経緯

Table with 2 columns: Year, Event. Rows include 昭37年7月 (National Comprehensive Development Plan), 昭38年10月 (Water Resource Development Promotion Law), 昭39年10月 (Fukuoka River Basin Water Resource Development Plan), 昭41年2月 (Fukuoka River Basin Water Resource Development Basic Plan).

Table with 2 columns: Year, Event. Rows include 昭50年4月 (Eguchi Dam), 昭53年6月 (Terano Dam), 昭58年10月 (Matsuyama Dam), 昭58年11月 (Fukuoka Water Supply), 昭60年4月 (Fukuoka Dam), 平成5年4月 (Sotatsu Dam), 平成25年4月 (Ooyama Dam).

■全国総合開発計画からフルプラン作成までの経緯

■筑後川の水資源開発事業の経緯

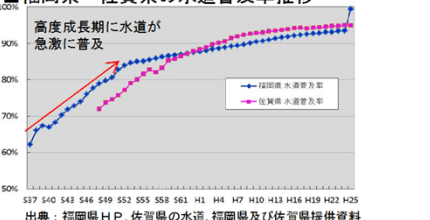
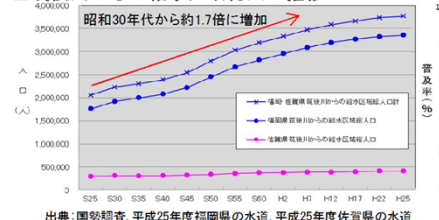
Table with 2 columns: Year, Event. Rows include 昭37年7月 (National Comprehensive Development Plan), 昭38年10月 (Water Resource Development Promotion Law), 昭39年10月 (Fukuoka River Basin Water Resource Development Plan), 昭41年2月 (Fukuoka River Basin Water Resource Development Basic Plan).

Table with 2 columns: Year, Event. Rows include 昭50年4月 (Eguchi Dam), 昭53年6月 (Terano Dam), 昭58年10月 (Matsuyama Dam), 昭58年11月 (Fukuoka Water Supply), 昭60年4月 (Fukuoka Dam), 平成5年4月 (Sotatsu Dam), 平成25年4月 (Ooyama Dam).

■筑後川からの給水区域総人口推移

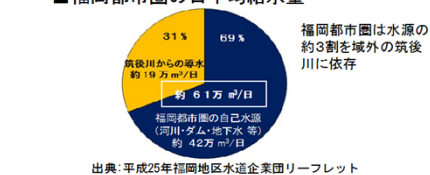
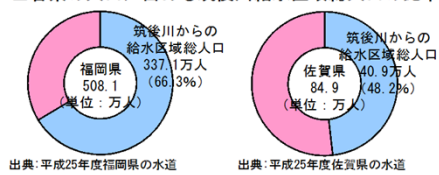
■福岡県・佐賀県の水道普及率推移

■筑後川の広域的な水利用



■各県の人口に占める筑後川給水区域総人口の比率

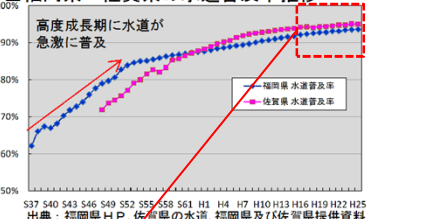
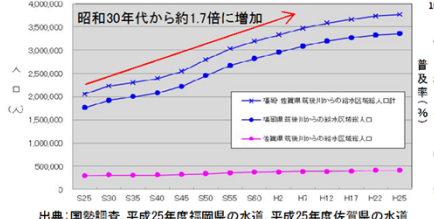
■福岡都市圏の年平均給水量



■筑後川からの給水区域総人口推移

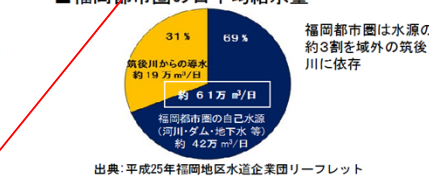
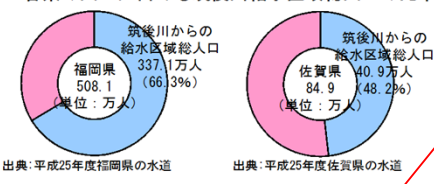
■福岡県・佐賀県の水道普及率推移

■筑後川の広域的な水利用



■各県の人口に占める筑後川給水区域総人口の比率

■福岡都市圏の年平均給水量



修正